



国境なき医師団について

2016年7月更新

国境なき医師団（Médecins Sans Frontières 略称 MSF）は、紛争や災害、貧困などによって命の危機に瀕している人びとに医療を提供する、非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体です。医師や看護師をはじめとするスタッフが、世界約 70 の国と地域で援助活動を行っています。

1971 年にフランスで医師とジャーナリストによって設立され、日本を含む世界 28 カ国に事務局をもつ国際的な組織です。1999 年にはノーベル平和賞を受賞しています。

独立した人道援助団体

MSF は医療倫理と「独立・中立・公平」という人道援助の原則に従い、助けを必要としている人びとへ、人種や政治、宗教にかかわらず、分けへだてなく無償の援助を提供します。

証言活動

援助活動の現場では、虐殺や強制移住などの激しい人権侵害を目の当たりにすることがあります。また、医療スタッフや施設が攻撃の対象になったり、人道援助が政治的に利用される現実に直面したりすることもあります。MSF はそのようなとき、世論を喚起するために現状を国際社会に証言します。

財務の独立性と透明性

MSF の活動資金は、そのほとんどを民間からの寄付でまかっています。それは資金の独立性と透明性を保ち、どんな権力や政治的圧力からの影響も受けず、自らの決定で必要な場所へ援助を届けるためです。公的資金の割合を抑えることで、活動の自由を確保しているのです。

活動スタッフ

MSF の活動には医療従事者（医師、看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、臨床心理士など）をはじめ、物資調達、施設・機材・車両管理、建築などを担うロジスティシャンや、人事・経理・財務を担当するアドミニストレーターなどさまざまな専門家が参加しています。海外から派遣されるスタッフと現地で雇用されるスタッフをあわせると年間約 3 万 8000 人が活動に従事しています。

国境なき医師団（MSF） 概要

ワールドワイド

- ・1971 年に設立
- ・世界約 70 の国と地域で活動
- ・約 7000 人の海外派遣スタッフ
約 3 万 1000 人の現地雇用スタッフ
- ・1999 年にノーベル平和賞受賞
- ・寄付収入 14 億 4000 万ユーロ（2015 年）
- ・収入の 92% は民間からの寄付、
残りは公的機関からの収入

日本

- ・1992 年に事務局開設
- ・事務局長：ジェレミ・ボダン
- ・会長：加藤 寛幸（医師）
- ・寄付収入 82.9 億円（2015 年）
- ・収入の 95% 以上は民間からの寄付
- ・99 人のスタッフを、のべ 148 回、31 の
国と地域に派遣（2015 年）

活動小史 1971 – 2015

- 1971 国境なき医師団の創設** - ナイジェリアのビアフラ内戦がもたらした市民の窮状を医師たちが国際社会に伝えたことをきっかけに、医師とジャーナリストによりフランスで創設。
- 1975 初の大規模な難民援助** - ポル・ポト政権から逃れるカンボジア市民を援助するため、MSF 初の大規模な難民援助活動をカンボジアとタイで開始。
- 1984 大規模な栄養治療** - エチオピアの大干ばつと政府の失策による飢餓で 100 万人以上が命を落とす。MSF は飢餓に直面した人びとへの大規模な栄養治療プログラムを実施。
- 1991 過去最大規模の活動** - 湾岸戦争と内乱で難民となったイラクのクルド人への援助活動を開始。トルコ、イラン、ヨルダンで、物資 2000 トン、スタッフ 150 人と、過去最大規模の活動を展開。
- 1995 虐殺の唯一の証言者に** - ボスニア・ヘルツェゴビナの国連保護地域がセルビア人勢力の攻撃を受け、多数の虐殺や強制移住が起こる。紛争当初から現地で活動していた MSF 唯一の証言者となる。
- 1999 ノーベル平和賞を受賞** - 28 年間の人道支援活動が評価され、ノーベル平和賞を受賞。授賞式で、ロシア軍によるチチェン市民への無差別爆撃の停止を訴える。
- 1999 必須医薬品キャンペーン開始** - 治療可能な感染症で毎年数百万人が命を失う状況に対し、途上国や貧困層の人びとに適した薬や技術を求める同キャンペーンをノーベル平和賞の賞金をもとに開始。
- 2003 イラク戦争下で医療機関を支援** - バグダッドが米英軍の攻撃を受ける間も現地にとどまり、医療機関の支援を行う。米英政府に対し、国際人道法に従ってイラク国民の医療を保証するよう要求。
- 2010 ハイチ大地震とコレラ流行に対応** - 地震直後から緊急医療活動を開始し、同年 10 月までに 35 万人以上を治療。その後コレラ流行のため、50 か所にコレラ治療施設を開設。
- 2011 東日本大震災緊急医療援助** - 震災の翌日から、医療の届いていない地域で緊急医療援助を開始。医療、心理ケア、物資や通院用バスの提供、仮設住宅・医療施設の建設支援を行う。
- 2012 シリア危機** - 政府の認可を得られぬまま、北部で病院の運営を開始。以来国内 6 か所の病院運営、100 余りの地元医療施設の後方支援を行う。ヨルダン、レバノン、イラクでもシリアからの難民に対応。
- 2013 ソマリアでの全活動を終了し撤退** - 22 年にわたる活動の中で 16 人のスタッフが殺害された。人道援助団体への脅迫・襲撃が後を絶たず、それを容認する風潮もあり、活動を続けることは困難と判断した。
- 2014 エボラ出血熱の大流行** - ギニア、リベリア、シエラレオネを中心に過去最大規模の流行。MSF は緊急対応の中心的役割を担うとともに、国連など国際社会に対して緊急援助の重要性を呼びかけ続けた。
- 2015 病院への攻撃続く** - アフガニスタン・クンドウーズの MSF 病院が米軍の爆撃を受け、患者・スタッフ 42 人が犠牲に。この年、紛争地における MSF 関連の医療施設への砲爆撃は 75 軒 106 回に上った。

報道関係者からのお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平・趙 潤華

TEL : 03-5286-6141・6153/090-5759-1983 FAX : 03-5286-6124 E-mail: press@tokyo.msf.org